



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Fuji Sankei Business i. (9 June 2016, Japan)

Page: 7

タイで「エコプロダクツ国際展」

24時間エコ 低炭素に焦点

第10回エコプロダクツ国際展（EPIF2016、主催・アジア生産性機構／共催・タイ工業連盟＝FTI、タイ工業省、タイ生産性本部）が8日、タイの首都バンコクのバンコク国際展示場で開会した。

EPIFはアジア最大規模の環境国際展示会で、2004年にマレーシアでの第1回が開催されて以来、毎年アジア各国で開催されている。タイでの開催は今回で2回目。

今回は「24時間エコライフ」をテーマとし、気候変動による

環境への影響を低減するための低炭素社会の発展とグリーングロースに焦点を当てている。

展示会場はエコイノベーション、エコプロダクツ、エコサービスの3つのゾーンからなり、タイ内外から約200社の環境関連企業が出展した。日本からは28社が出展している。

開会式で来賓としてあいさつしたタイ副首相のプラジン・チャントーン氏一写真は「二酸化炭素の排出量削減に向けて、さまざまな環境保護に関する取り組みを行っているが、この展



示会を通じて、電気自動車や再生可能エネルギーなどをさらに推進させたい」と語った。

会期は8日から11日までで期間中7万人の来場者を見込んでいる。

(フジサンケイビジネスアイ 2016年6月9日付 7面)